

市長インタビュー

共通の行政課題に、4市で取り組みます

●今後、ダイアプランでは、どのような行政課題に取り組んでいくのでしょうか。

斎藤市長 このダイアプランは、昭和63年8月に飯能市、狭山市、入間市そして所沢市の4市で設立しました。それ以来、「公共施設の相互利用」「4市の公共図書館や大学の図書館の相互利用」や各種の啓発事業など、さまざまな取り組みを行ってまいりました。

各自治体の抱える問題として、少子高齢化、環境保全、危機管理、交通問題などが主なものとしてあげられます。このような共通する行政課題に対して、飯能・狭山・入間・所沢の近隣4市が、互いに協力・連携をして、その解決に向けて取り組んでまいります。

幹線道路、鉄道といった交通網や河川などを共有し、歴史、文化そして経済圏も類似性をもつ近隣4市が、協同して広域的に市民の皆さんの利便性を向上させていくことは、4市の発展につながっていくことと考えております。

今後も、自治体の財政状況は引き続き厳しいことが予想されます。その中で市民の皆さんの行政へのさまざまな要望にお応えしていくために、4市が協力・連携し広域的な視点に立ち、最小の経費で最大の効果が得られるように努めてまいります。

また、ダイアプランでは、暮らしに密着した課題などについても取り組みを行い、市民の皆さんの声を行政運営に反映できるように、そして魅力あふれる郷土を創造するために、広域的な行政を進めてまいります。

4市の公共施設のご利用や、イベントにご参加いただき、ダイアプランへのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

ダイアプラン(埼玉県西部地域まちづくり協議会) の取り組み



■相互利用できる主な施設 (地図上の番号は、下表の施設の番号と対応)



⑥入間市児童センター



⑧入間市文化創造アトリエ・アミーゴ▶



図書館

DIA プラン		
Dramatic space	(劇場空間づくり)	
Interaction system	(交流システムづくり)	
Amenity network	(水と緑のネットワーク)	

ダイアプランとは

市では、近隣の飯能・狭山・入間との4市で、「埼玉県西部地域まちづくり協議会」(ダイアプラン)を組織し、魅力あふれる都市圏を創造するための取り組みを行っています。

同協議会では、「未来にきらめく文化都市圏」を将来像とする、埼玉県西部地域まちづくり構想・計画を策定しました。

4市が協調し、発展していくことを願い、本圏域を強固なダイア

プラン」という愛称にな

りました。

モンドに見立て、計画の柱に上

記の目標を掲げ、この頭文字から

「ダイア

プラン」という愛称にな

りました。

4市が協調し、発展

していくことを願い、本圏域を強固なダイア

プラン」という愛称にな

りました。

<p